

福井新聞

2020年11月17日（火）24面に掲載

地盤補強に県産間伐杉

小浜で工事見学会

県整備の輪中堤 地産地消にも貢献

本番から住宅地を守るため、県産間伐材を3本連結して打設する工事現場。15日、小浜市江古川

水害から住宅地を守るため、県産間伐材を3本連結して打設する工事現場。15日、小浜市江古川。この整備が進む小浜市江古川流域の江古川区で16日、県産の間伐材で地盤補強工事の見学会があった。長さ4メートルの丸太を3本連結して、基礎杭に埋め込む工法の説明は、県内初めてという、工事関係者や森林組合関係者ら約50人が安全性や技術について質問していた。（佐々木紀光）

県工業技術センター（福井市）、県小浜土木事務所が開いた。国庫地区にある江古川区は西側に県立大小浜キャンパスが立地する山があり、東側に江古川が流れている。

輪中堤

江古川は1級河川北川の支川で北川より低く、近年では2004年、11年、13年に氾濫し、流域一帯は大きな被害を受けた。市は17年7月から流域約

横断面図(輪中堤)

(左岸) (右岸) 江古川 輪中堤 基礎杭 江古川区

※福井県土木事務所の資料より



株式会社 AB コーポレーション